

児調節の具体的な面は、そのすべてが性生活の中の出来事であることが判明され、ここに面接調査によって詳しく具体的に（性行動・性生活の・注）事実を把握しなければ机上の空論に終わることが認識された」と述べ、1949年（昭和24）から52年（昭和27）までの4年間にわたって東京、埼玉、千葉、茨城、岩手、青森、岡山の1都6県において性行動調査を実施している。本調査について篠崎は、標本抽出は地域における悉皆調査を立前としたが地方差の問題は依然として残っていると反省している。調査方法については面接方式を行い、面接者には篠崎自らの他、青木、各務の両技官があたったと記されている。また回収された標本の処理にあたっては、サンプルの代表性、誤差率、普遍妥当性などについて細かい神経を使っている。その意味では今日の社会統計調査に極めて近い、有効な調査であるが、既婚夫婦を対象とした調査であるので、ここではこれ以上触れることはしない。

既述した朝山、篠崎の調査は対象者が各々大学生、既婚夫婦であったが、これとは対照的に、中学生を調査対象とした性調査が横浜市立教育研究所長岡田寅次（教育学）によってなされている。

岡田は横浜市内の公立中学生徒約7,000名を対象とし、7年間にわたって性意識・性行動調査を行い、1953年（昭和28）に「思春期の性意識」をして公表し、当時の有識者らが抱く以上の中学生の性への関心度に教育界においてセンセーショナルな話題を引き起こした。しかし、この結果が学校での性教育（当時は純潔教育と呼ばれていた）に問題提起をするまでに至らなかったことは残念なことであった。

## 2. 1900年代後半に始まった大規模調査

### 1) 総理府青少年対策本部による性意識調査

1971年（昭和46）、総理府青少年対策本部（現・内閣府政策統括官総合企画調査担当）による『青少年の性意識調査』が実施された。調査実施主体が政府機関であることは、このような性に関する調査としてはこれまでに例を見ない、きわめて画期的なものであった。調査責任者は篠崎信男・厚生省人口問題研究所人口資質部長（当時）、調査グループは医事評論家の村松博雄、石川弘義・成城大学助教授（当時・社会心理学）、湯沢雍彦・お茶の水女子大学助教授（当時・家族社会学）、玉井美知子・神奈川県教育庁指導主事（当時）らであった。

本調査は全国12歳～24歳の未婚男女計5,000人を、層化2段無作為抽出法にて選び、質問紙による個別面接聴取法で実査した。有効回答数は3,884票（77.7%）であった。

報告書にはむすびの言葉として、「青少年の性意識は地域差を縮め、身体的発達成長速度の結果から異性交際の状況が加速変化している。一方、性知識はまったく乏しく、正確な性知識を求めるにも、断片的な雑誌や週刊誌の情報のみで、正しい性教育、性情報の入手方法がない。青少年自身も純潔教育ではない性教育を望んでいる。学校や家庭での正しい

責任ある性教育が望まれる。(大意)」と結んでいる。そして将来課題として、①同種調査の経年実施の必要、②諸外国との比較、③事例研究、④性行動の実態調査の必要性をあげている。政府レベルの報告書で、青少年の性を正面から取り上げ、しかもこの時代において性教育の重要性を明確に述べたのは稀有なことであり、いわば“お墨付”をもらった受け手である社会は、これにより、純潔教育から性教育への転換を計り、性意識・性行動調査の質的な飛躍を試みる契機となったと言えよう。

## 2) 財団法人日本性教育協会による性行動調査

1974年(昭和49)の11月から12月にかけて、文部省(現・文部科学省)が所管する財団法人日本性教育協会は、総理府青少年対策本部(当時)の委託を受け、日本で初めての調査『青少年の性行動—わが国の高校生・大学生の性に関する調査』を実施した。本調査は青対本の委託ということからみても理解できるように、前述『青少年の性意識調査』の提言を受けたものと理解してよいものである。

調査代表者は朝山新一(財)日本性教育協会常務理事がなり、調査委員として篠崎信男、村松博雄の他に黒川義和(大阪府科学教育センター・当時)、田能村祐麒(東京都新宿区教育委員会・当時)、間宮武(横浜国立大学)らになった。本調査の対象者は国・公・私立の高等学校、短大、大学に在学中の16歳から21歳までの青少年で、対象地域は人口100万以上の大都市として札幌、東京、名古屋、京都、大阪、福岡の各都市、100万以下の中・小都市として秋田、仙台、松江、高松、熊本の各市を選んだ。

調査実施に際しては、公立高等学校の場合、該当都市区の教育委員会を通じて協力校を選び、私立学校の場合は調査委員等の関係者による協力を仰いだ。実査にあたっては調査委員会から調査員を派遣し、調査票による集団記入を行ったが、当該学校の教員は調査にかかわらないこととした。短大・大学では前述の集団記入法を原則としたが、一部、自記郵送回収法をとったところもある。

本調査の最大の特長は、第1回調査1974年(昭和49)、第2回調査1981年(昭和56)、第3回調査1987年(昭和62)、第4回調査1993年(平成5)、第5回調査1999年(平成11)と6年ごとに実査された継続調査であることにある。また、第3回調査以降は中学生(12歳~15歳)を調査対象に加えたことにより、より詳細な若者の性意識・性行動が明らかにされるようになった。(この結果、都市部のみではなく、町村地点の高校生、中学生も調査対象となった)更に、各回に実施した調査票の内容を、同一ないしは類似させることによって行動や意識の時間的な変化を知ることができるようにしたことなどがあげられる。

## 3) 東京都性教育研究会による小・中・高校を対象とした調査

(財)日本性教育協会による『青少年の性行動調査』に平行して、1981年3月、東京都小学校性教育研究会、同中学校性教育研究会、同高等学校性教育研究会の手によって東京

都内の公立小学校の児童 5,6 年生、中学校生徒の全学年、高等学校 2 学年の生徒を対象に、各対象学年を男女それぞれ 500 名、計 6,000 名を目標に調査を行った。本調査は『児童・生徒の性意識・性行動—東京都小・中・高校生徒に関する調査報告』として同年 8 月に公開された。

本調査は前述の（財）日本性教育協会の性行動調査が 6 年に 1 度というスパンであるのに比し、3 年に 1 度の周期で調査が実施され貴重な報告となっている。母集団を東京都内の公立学校とすることで通してあり、対象群も第 2 回調査以降、小学校 5,6 年生、中学校・高等学校全学年と拡大し、更に第 6 回調査以降は小学校においても全学年、公立幼稚園児、身障学級（小・中学）及び養護学校（高等部）の児童・生徒も調査対象としたことは極めて意義の大きいものとなっている。本調査の結果が、教科書、参考書、或いは各種の報告にも引用されるまでに成長したことは喜ばしいことである。

#### 4) 若者の HIV/STD 関連知識・性行動・性意識に関する研究

上述のタイトルによって木原雅子（広島大学医学部公衆衛生学教室）らによる厚生科学研究行動科学Ⅱグループの調査報告がなされたのは 2000 年（平成 12）であった。木原らは HIV/STD に関する知識レベル、性意識、リスク行動、セクシュアルネットワークの実態を把握し、その集団に適した効果的な予防対策に資することを目的とし、無記名、自記式アンケート調査を実施した。

本調査は「全国国立大学生セクシュアルヘルススタディ」と称し、全国のすべての国立大学保健管理施設（96 大学）に調査依頼を行った。その結果、30 大学が調査協力を引き受けた。調査方法は大学入学健康診断時、卒業健康診断時に調査票を全員に配布、各自自宅にて記入後、無記名で添付の封筒に密封し、大学保健管理施設に提出する方法をとった。調査対象者は大学 1 年生と 4 年生で調査参加者は 13,645 名（回収率：1 年生で 59.2%、4 年生で 53.0%）であった。

調査結果について木原は、国立大学全体の約 3 分の 1 の協力で、平均回収率は 60%弱であるので、今回の調査は国立大学生の代表サンプルたり得ないが、協力校が比較的地域の偏りがなく、全国的に分布していること、回収率高低の結果と主な性行動との間に関連は見られないことなどの理由から、これにより国立大学生の性行動をある程度把握できると述べている。

#### 5) その他の性行動調査研究

本稿では 20 世紀後半に実施された性行動・性意識調査のうち大規模調査あるいは経年継続調査といわれるものについて紹介した。先述したように総理府青少年対策本部による『青少年の性意識調査』は全国の青少年や思春期問題に関わる組織、研究者の間で、同様、小規模の調査実施を呼びおこす契機となり、各都道府県教育研究所、教育センターでは一斉

に実態調査なるものを開始した。しかし、当時の調査技法、集計・解析技法は現在のもの  
と比してあまりにも不十分なものが多く、残念なことではあるがここで紹介するのをため  
らわざるを得ない。

一方、青少年のみを対象としないが、ユニークな性行動調査として1982年（昭和57）に  
共同通信社が「現代社会と性」委員会の手によって実施した『日本人の性』（文芸春秋社  
1986刊）がある。これは、全国の資本金10億円以上の会社の管理職と中央官庁の課長以上  
職の夫と妻を対象にしたものであった。また、1983年（昭和58）の『モアリポート』は女  
性雑誌「モア」の読者層を対象にしたもので、当時のフェミニズム台頭期の流れの中で、  
女性の性行動や性価値観、対パートナーとの関係性を考えさせるものなどをあげることが  
出来る。

また同様に、調査対象を青少年に絞ったものではないが、最近の性行動に関する大規模  
調査として2つのものがあげられる。そのひとつは木原正博（京都大学大学院医学研究科）  
による「日本人の HIV/STD 関連知識、性行動、性意識についての全国調査」である。本調  
査は18歳～59歳の男女全国5000人を住民基本台帳から層化2段無作為抽出法で抽出し、  
調査方法は調査員の訪問による本人面前自記式を採用した。1999年6月～7月の間に実施  
され、回収率は71.2%と高率であった。本調査が厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業  
「HIV感染症の疫学研究」の一環として行われたことは誠に喜ばしいことである。

2つめの性行動調査は前述木原らの調査と同年の11月から12月にかけて実施された  
『NHK日本人の性行動・性意識調査』である。本調査はNHK教養番組部とNHK放送文化研  
究所とが調査主体となり、母集団を全国の16歳～69歳の男女とし、抽出方法は住民基本台  
帳から層化2段無作為抽出法とし、男性1,782名、女性1,818名、計3,600名をサンプルと  
した。調査方法は前述木原らの調査と同様、調査員の訪問による自記式面前記入密封回収  
法であった。有効率は58.4%であった。

### 3. まとめ

日本における性調査（性行動・性意識）について概観を述べた。戦前にも、戦後にも、  
この他に多くの調査が実施されているが、大きな流れということでこの程度の報告とした。

戦前の調査はともかく、戦後に行われた調査結果について、あえて数字を述べなかつた  
のは、調査目的、調査対象、調査方法、集計方法などが異なり、数値をあげることで、場  
合によればその結果あるいは評価に誤解を招きかねないこともあろうかと思ったからであ  
る。しかし約半世紀にわたる青少年の性意識・性行動調査の結果から言えることは、性  
に対する意識は明らかに開放的（解放的ではない）になっている。性行動は早期化、低年齢  
化、前傾化している、ある種の性経験については、男と女の間の差が収斂化していること  
などである。

昨今の社会事情から言えば、このような性調査はますます実施が困難になっていくことが予想できる。特に住民基本台帳をもとにしたランダムサンプリングは、プライバシーの保護の問題や調査にかかるコストを考えると障壁は高い。また、どんなに理想的な形で調査が行われたとしても、それが経年的、継続的に実施されたものでなければ、それはある時点での一断面でしかなく、教育の中にフィードバックされにくいものになってしまう。

しかるべき機関による、社会調査としての条件を満足させた経年的な調査が実施され、教育的な意味づけは勿論のこと、これらを日本の少子化問題にまで敷衍できる青少年の性行動調査が実施されることを願って止まない。

#### ■参考文献

- 『現代学生の性行動』 朝山新一 臼井書房 1949
- 『日本人の性生活』 篠崎信男 文芸出版 1953
- 「日本における性科学の発達」安田一郎 中央公論 70 卷 12 号 1955
- 『青少年の性意識』 総理府青少年対策本部 1972
- 『青少年の性行動—わが国の高校生・大学生に関する調査報告（第1回）』（財）日本性教育協会編 小学館 1975
- 『医師の性科学』 押鐘篤 学建書院 1977
- 『児童・生徒の性意識・性行動』 東京都小・中・高等学校性教育研究会編 教育開発研究所 1981
- 『モア・レポート』 モア・レポート調査班編 集英社 1983
- 『日本人の性』 共同通信社現代社会の性委員会編 文芸春秋社 1986
- 「若者の HIV/STD 関連知識・性行動・性意識に関する研究」 木原雅子ほか  
平成 11 年度厚生科研・エイズ対策研究事業 2000
- 『若者の性白書』 （財）日本性教育協会編 小学館 2001
- 『現代っ子の性』 東京都幼・小・中・高・障害児性教育研究会編 図書出版 2001
- 『データブック/NHK 日本人の性行動・性意識』 NHK 日本人の性プロジェクト編  
NHK 出版 2002

この調査票に記入した事項は、統計以外の目的に使用したり、他人にもらしたりすることは絶対ありませんので、ありのままを記入してください。

## 日欧性行動・意識・価値観比較調査

### ご記入に際してのお願い

- 1 この調査は、厚生労働省科学研究費行政政策分野、社会保障国際協力推進プロジェクトの一環として行い、STD・HIV 予防対策やリプロダクティブ・ヘルス推進のための研究資料として使用します。
- 2 本調査は無記名で行いますので、回答の内容が個人に特定化されることはありません。
- 3 回答は、特に指定のある場合を除いて、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- 4 四角い枠 (    ) で示されているところは、質問の答えにあてはまる数字をはっきりと書いてください。
- 5 質問の進み方は、矢印や質問の前の「注意書き」をよく読んで、それに従ってください。
- 6 年号はすべて西暦で答えてください。

### 調査票の回収について

- 1 記入が終わったら指定の回収用封筒に入れ、本日から1週間以内に、切手を貼らずに、そのまま投函してください。
- 2 返信用封筒の下に印刷されているバーコードは、郵便法による受取人払いのためのカスタマーコードです。個人を特定するものではありません。

調査主体 日欧性行動比較調査研究会  
 調査代表者 日本性科学情報センター 島崎継雄

〈調査に関するお問い合わせ〉

日本性科学情報センター

〒113-0033東京都文京区本郷3-14-10泰生ビル4F ☎03-5842-8660

〈お問い合わせは、土日祝日を除く11時～16時の間にお問い合わせ致します〉

--	--	--	--

5=1

都道府県番号一覧

〈問A-4、A-5、A-6、A-7の質問に答える際には、このコード番号で答えてください〉

01 北海道	11 埼玉県	21 岐阜県	31 鳥取県	41 佐賀県
02 青森県	12 千葉県	22 静岡県	32 島根県	42 長崎県
03 岩手県	13 東京都	23 愛知県	33 岡山県	43 熊本県
04 宮城県	14 神奈川県	24 三重県	34 広島県	44 大分県
05 秋田県	15 新潟県	25 滋賀県	35 山口県	45 宮崎県
06 山形県	16 富山県	26 京都府	36 徳島県	46 鹿児島県
07 福島県	17 石川県	27 大阪府	37 香川県	47 沖縄県
08 茨城県	18 福井県	28 兵庫県	38 愛媛県	
09 栃木県	19 山梨県	29 奈良県	39 高知県	
10 群馬県	20 長野県	30 和歌山県	40 福岡県	48 外国

**問A はじめにあなた自身のことについてお尋ねします。**

問 A-1 この質問票を記入した日はいつですか。西暦 200  年  月 6 7 8

問 A-2 あなたが生まれたのはいつですか。西暦 19  年  月 9 10 11 12

問 A-3 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をしてください。  
1. 男                      2. 女

問 A-4 あなたの出生地はどこですか。前ページにある都道府県番号一覧の番号で答えてください。外国の場合は、48と記入してください。

13 14

問 A-5 あなたは中学校在学時、主にどこで暮らしていましたか。都道府県番号で答えてください。外国の場合は、48と記入してください。

15 16

問 A-6 あなたは現在どこに住んでいますか。都道府県番号で答えてください。  
い。

17 18

問 A-7 あなたの大学はどこにありますか。都道府県番号で答えてください。

19 20

問 A-8 あなたの所属学部(学科)あるいは専攻分野は、次のうちのどれですか。もっとも近いものを一つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 文学・哲学・史学    2. 心理学    3. 社会学    4. 法学  
5. 政治学    6. 経済学・商学    7. 教育学    8. 理学  
9. 工学    10. 薬学    11. 医学・歯学・看護    12. 農学・水産学  
13. その他

21 22

問 A-9 中学校在学時、あなたが主に住んでいた市・町・村の人口はどのくらいでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。(東京23区の場合は9と答えてください)

1. 1,000 人以下    2. 1,000 人～5,000 人    3. 5,000 人～1 万人  
4. 1 万人～2 万人    5. 2 万人～5 万人    6. 5 万人～10 万人  
7. 10 万人～50 万人    8. 50 万人～100 万人    9. 100 万人以上

23 24

問 A-10 現在あなたは誰とどのように住んでいますか。下記の3つの時間帯について、それぞれ該当する番号に○をつけてください。

		両親と	親戚または家族の友人と	友人と一緒に	独立して	寄宿舎や寮に	異性の友人と	夫婦で
学期中	月曜日から金曜日まで	1	2	3	4	5	6	
	土曜日・日曜日	1	2	3	4	5	6	
夏休み・冬休みなど		1	2	3	4	5	6	

25

26

27

問 A-11 現在、あなたは大学に通う他に仕事をしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. まったくしていない      2. たまに(単発で)      3. パートタイムで(週あたり15時間以内)      4. パートタイムで(週15時間以上)

28

**問B 次にあなたの両親(養父母を含みます)との生活について伺います。**

問 B-1 あなたのご両親が結婚したのはいつでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 西暦     年      2. 結婚していない  
3. わからない

29 30 31 32 33

問 B-2 あなたの父親が生まれたのはいつですか。

1. 西暦     年      2. 不明

34 35 36 37 38

問 B-3 あなたの母親が生まれたのはいつですか。

1. 西暦     年      2. 不明

39 40 41 42 43

問 B-4 もし、あなたの父親が死亡されている場合、亡くなられたのはいつですか。

1. 西暦     年      2. 不明

44 45 46 47 48

問 B-5 もし、あなたの母親が死亡されている場合、亡くなられたのはいつですか。

1. 西暦     年      2. 不明

49 50 51 52 53

問 B-6 あなたの両親の第一子が生まれたのはいつですか。

1. 西暦     年      2. 不明

54 55 56 57 58

問 B-7 あなたの両親は、別居または離婚をしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 両親は別居も離婚もしていない  
2. 両親はこれまでに一緒に生活したことがない  
3. 両親は 西暦     年に別れた

59 60 61 62 63

問 B-8 あなたの両親のそれぞれが、最後に卒業した学校は次のうちのどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

	中学校	高等学校	高専 短大 専修大	大学	大学院	知らない
父親	1	2	3	4	5	6
母親	1	2	3	4	5	6

64

65

問 B-9 あなたが 11 歳になった頃から現在まで、あなたの両親は働いていましたか。それぞれの年齢区分ごとにあてはまる番号に○をつけてください。

〈父親〉	働いていた	働いていない	不明 (死亡)
	1	2	3
11～13 歳	1	2	3
14～15 歳	1	2	3
16～18 歳	1	2	3
現 在	1	2	3

〈母親〉	働いていた	働いていない	不明 (死亡)
	1	2	3
11～13 歳	1	2	3
14～15 歳	1	2	3
16～18 歳	1	2	3
現 在	1	2	3

66  
67  
68  
69

70  
71  
72  
73

問 B-10 あなたの両親の現在の職業は何ですか。以下の分類のあてはまる番号に、父親、母親それぞれに、ひとつずつ○をつけてください。(両親が現在離職しているか、または死亡の場合は、最後の職業について教えてください) 2種類以上の職業についての場合は、そのうちの主たる職業ひとつについて教えてください。

	父 親	母 親	
自営者	1	1	農林業(植木職、造園師を含む)
	2	2	商工サービス業(①卸売・小売店・飲食店・理髪店など、従業員が9人以下の会社・商店・団体などの経営者または個人営業主、②アパート経営者)
	3	3	その他の自営業(開業医、弁護士事務所経営者、宗教家、著述業、芸術家、茶華道師匠など)
家族従事者	4	4	農林漁業や個人商店など、自分の家族が営む事業を手伝っている者
企業経営者	5	5	従業員 10 人以上の会社や団体の経営者(会社社長、団体役員など)
勤め人	6	6	管理職(官公庁、各種団体・組織、会社の課長以上。ただし経営者を除く)
	7	7	専門・技術職(研究者、裁判官、弁護士、勤務医、教員、エンジニア、科学技術者、看護婦、医療技術者など)
	8	8	事務職(事務系会社員、事務系公務員、事務機械のオペレーターなど)
	9	9	販売職(小売店、販売店の定員、外交員など)
	10	10	技能・労務職(運転手、通信士、技能士、消防士、土木建築、生産工程従業者など)
その他	11	11	サービス職(保安業務、理容師、調理師、家政婦など)
	*	12	専業主婦
	13	13	わからない
	14	*	父親はいなかった
	*	15	母親はいなかった

74 75

76 77

問 B-11 あなたが 14 歳から 18 歳くらいの 10 代の頃、あなたと両親との感情面での関係について、次の 4 つの項目の中で、どれが最も近いと思いますか。それぞれのうちからひとつだけ選んで番号に○をつけてください

	それほど 存在感はなかった	距離感があった	親しく感じていた	会ったことがない (死亡していた)
父親	1	2	3	4
母親	1	2	3	4

78

79

問 B-12 あなたが 14 歳から 18 歳くらいの 10 代の中に、両親あるいは父親、母親のいずれかと、下記の話題について話したことがありますか。それぞれの項目について該当する番号に○をつけてください。

	まったくない	ある程度 のものがある	かなり詳しくある	顔を合わせなかった ／両親とも死亡
性的な成長・発達について	1	2	3	4
性感染症について	1	2	3	4
避妊法について	1	2	3	4

80

81

82

問 B-13 あなたが 11 歳の頃から現在まで、あなたは、自分自身の性的なこと  
らについて、両親と話をしたことがありますか。それぞれの年代につ  
いて該当する番号に○をつけてください。

	ま つ た く な い	あ る 程 度 の こ と に つ い て	か な り 詳 し く あ る	／ 両 親 と も 死 亡	顔 を 合 わ せ な か つ た
11～13歳の頃	1	2	3	4	
14～15歳の頃	1	2	3	4	
16～18歳の頃	1	2	3	4	
現在	1	2	3	4	

問 B-14 あなたが 14 歳から 18 歳くらいの 10 代の中に、直接的であらさまな  
性表現の場面のある映画、または TV(ビデオ)をみたことがありますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。

1. ない
2. まわりに大人がいない時に見たことがある
3. いつでも自分の好きなときに見られた

問 B-15 あなたが 16 歳から 18 歳だった頃、両親から言われた規則(門限とか、  
交友関係、勉強時間等々)について、あなたはどの様に感じていま  
したか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. たいていは反発せずに従っていた
2. もう少し緩くして欲しいと説得に努めた
3. 何が問題なのかわからず、時々喧嘩をした
4. 両親ともに死別していたのでそのようなことはなかった

問 B-16 あなたが 16 歳から 18 歳だった頃、あなたの両親は次のようなことを許  
してくれましたか。それぞれの項目について該当する番号に○をつけ  
てください。

	全 く 許 さ な い	時 々 許 し た	し ば し ば 許 し た	ほ と ん ど 許 し た
事前の断りなしに食事に遅れる	1	2	3	4
土曜の夜、遅く帰宅する	1	2	3	4
その他の日に夜遅く帰宅する	1	2	3	4
家にあなを異性の友人と 2人だけにしておく	1	2	3	4

- 問 B-17 あなたにはお姉さんがいますか。 1. いる 2. いない  
 問 B-18 あなたにはお兄さんがいますか。 1. いる 2. いない

93  
94

**問C ここでは宗教について伺います。**

5=2

- 問 C-1 あなたにとって宗教(信仰)の重要度はどの程度だと思いますか。  
 1. まったく重要ではない 2. ほとんど重要ではない  
 3. かなり重要である 4. 非常に重要である

6

- 問 C-2 あなたが 11 歳くらいの頃から現在まで、あなたは何らかの宗教的な行事に出席したことがありますか。各年齢区分について、該当する番号に○をつけてください。

	まったく ない	時々 ある	よく ある	頻 繁 に あ る
11～13 歳	1	2	3	4
14～15 歳	1	2	3	4
16～18 歳	1	2	3	4
現在	1	2	3	4

7

8

9

10

- 問 C-3 結婚式、葬式、法事(洗礼式)といった特別な場合を除いて、現在、あなたは自分の宗教の礼拝にどのくらい参加していますか。また、あなたが 13 歳だった頃、あなたや両親はどのくらい参加していましたか。もし、両親がそれ以前に亡くなっていたら、健在だった頃を思い出して該当する番号に○をつけてください。

	ま た く な い	年 に 時 々	月 に 1 回 程 度	月 に 2 ～ 3 回	週 に 1 回 か そ れ 以 上	わ か ら な い
現在の自分	1	2	3	4	5	6
13 歳当時の自分	1	2	3	4	5	6
自分が 13 歳当時の父親	1	2	3	4	5	6
自分が 13 歳当時の母親	1	2	3	4	5	6

11

12

13

14



- 問 D-4 あなたが 14 歳から 18 歳ぐらいの頃、あなたは以下にあげる項目のうち、いずれかに悩んだことがありますか。それぞれの項目について○をつけてください。
- |                |       |       |    |
|----------------|-------|-------|----|
| 重度の摂食障害(過食・拒食) | 1. ある | 2. ない | 26 |
| 重度の睡眠障害(不眠症)   | 1. ある | 2. ない | 27 |
| ニキビ            | 1. ある | 2. ない | 28 |
| 言語障害(吃音・その他)   | 1. ある | 2. ない | 29 |
| 視覚または聴覚障害      | 1. ある | 2. ない | 30 |
| 手や掌の多汗症        | 1. ある | 2. ない | 31 |
| 夜尿             | 1. ある | 2. ない | 32 |
| 口臭             | 1. ある | 2. ない | 33 |

- 問 D-5 〈女性のみ答えてください〉あなたは初経がありましたか。
1. あった      2. まだない
- 34

- 問 D-5-SQ 〈問D-5で1.と答えた人のみ〉それはいつでしたか。月まで覚えてない場合は年だけでけっこうです。
- 35 36 37 38

西暦     年   月

39 40

**問E 次に学校生活や余暇時間、リスク行動などについて伺います。**

- 問 E-1 あなたが 13 歳だった頃、クラスの他の生徒とくらべてあなたの学校の成績はどうでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 悪かった      2.それほど良くなかった      3.よかった
4. 非常によかった
- 41

- 問 E-2 あなたが 18 歳だった頃、あなたの学校の成績はクラスの他の生徒と比べてどうでしたか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. 悪かった      2.それほどよくなかった      3.よかった
4. 非常によかった
- 42

- 問 E-3 あなたは小学校または中学校時代に長期欠席、不登校、落第などの理由で留年したことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。
1. ある      2. ない
- 43

- 問 E-4 中学校の頃、あなたは学校の規則・規定についてどのように感じていましたか。ひとつだけ選んで番号に○をつけてください。
1. たいていは受け入れていた
2. たいてい、文句は言わなかったが、厳しすぎると思っていた
3. 厳しすぎると感じ、しばしば文句を言っていた
- 44

問 E-5 学校に通っている間、学校での体育の時間を除いて、あなたはスポーツ活動、体育活動に参加していましたか。各年齢層で該当する欄の番号に○をつけてください。

	して いない	ま った く し て い た	時 々 し て い た	し ば し ば し た	頻 繁 に し た	非 常 に 頻 繁 に し た
14～15歳	1	2	3	4		
16～18歳	1	2	3	4		
現在	1	2	3	4		

45  
46  
47

問 E-6 あなたはこれまでに政治団体、環境団体、障害者向け保健サービスなどの、無償のボランティア活動をしたことがありますか。各年齢層で該当する番号に○をつけてください。

	全 然 な い	時 々 あ る	し ば し ば あ る	頻 繁 に あ る
11～13歳	1	2	3	4
14～15歳	1	2	3	4
16～18歳	1	2	3	4
現在	1	2	3	4

48  
49  
50  
51

問 E-7 あなたが11歳だった頃から現在まで、ディスコやクラブなどの踊れる場所に行ったことがありますか。各年齢層で該当する番号に○をつけてください。

	全 然 な い	時 々 あ る	し ば し ば あ る	頻 繁 に あ る
11～13歳	1	2	3	4
14～15歳	1	2	3	4
16～18歳	1	2	3	4
現在	1	2	3	4

52  
53  
54  
55

問 E-8 あなたが 11 歳だった頃から現在まで、あなたは喫煙の経験がありますか。各年齢層で該当する番号に○をつけてください。

	め つ た に な い	全 く あ る い は	1 ~ 7 本	1 日	8 ~ 15 本	1 日	16 ~ 25 本	1 日	26 本 以 上	1 日
11 ~ 13 歳	1		2		3		4		5	
14 ~ 15 歳	1		2		3		4		5	
16 ~ 18 歳	1		2		3		4		5	
現在	1		2		3		4		5	

56  
57  
58  
59

問 E-9 昨年 1 年間の間で、興味本位の体験も含めて、下記の事柄をどのくらい経験しましたか。各項目についてあてはまる番号に○をしてください。

	ま つ た く な い	時 々 あ る	し ば し ば あ る
ポルノ本・雑誌を読んだ	1	2	3
映画館でポルノ映画をみた	1	2	3
ポルノビデオをみた	1	2	3
アダルトショップに行った	1	2	3
アダルト電話を利用した	1	2	3
ストリップショーまたは類似の所に行った	1	2	3
インターネットでアダルトサイトにアクセスした	1	2	3

60  
61  
62  
63  
64  
65  
66

問 E-10 あなたはいままで下記のことを経験したことがありますか。あてはまる番号に○をしてください。

	あ る	な い
飲酒	1	2
マジック・マッシュルームなどの合法ドラッグ	1	2
法定速度を 20km 以上超えたスピード運転	1	2

67  
68  
69

問 E-10-SQ (問E-10で1と答えた人のみ)ある場合は、その初体験の年齢を記入してください。また、現在はどうですか。それぞれの項目について番号に○をつけてください。

	ある場合の 初体験年齢	現在			
		まったく ない	時々 ある	しばしば ある	頻繁に ある
飲酒	歳	1	2	3	4
マジック・マッシュ ルームなどの 法ドラッグ	歳	1	2	3	4
法定速度を 20km以上超え るスピード運転	歳	1	2	3	4

70 71 72

73 74 75

76 77 78

**問F 次にあなたの友人関係や性的な経験について伺います。**

問 F-1 あなたが 11 歳から現在まで、あなたの友人は以下のどれに当てはまりますか。各年齢層について該当する番号に○をつけてください。

	い な か っ た	全 部 男 性 だ	全 部 女 性 だ	ほ と ん ど 男 性 だ	ほ と ん ど 女 性 だ	男 女 ほ ぼ 半 々 だ
11～13 歳	1	2	3	4	5	6
14～15 歳	1	2	3	4	5	6
16～18 歳	1	2	3	4	5	6
現在	1	2	3	4	5	6

79

80

81

82

問 F-2 あなたは 11 歳の頃から現在まで、友達とオープンに性のことを話しましたか。各年齢層ごとに該当する番号に○をつけてください。

	友 達 は い な か っ た	全 く な い	と き ど き あ る	し ば し ば あ る	頻 繁 に あ っ た
11～13 歳	1	2	3	4	5
14～15 歳	1	2	3	4	5
16～18 歳	1	2	3	4	5
現在	1	2	3	4	5

83

84

85

86

問 F-3 今までにあなたは性交まではいかないとしても、ヘビーキス、ペッティング、抱きしめるなどの何等かの性的な行為をした経験がありますか。あるとすれば初めて経験したのは何歳の時ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 今までに1度もない                      2. ある(   歳の時)

87 88 89

問 F-4 あなたは今までに自分の意志に反して、性交とは限らなくとも、何等かの性的な行為をさせられた経験がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. ない                      2. ある

90

問 F-5 あなたはいままで、自分と同性の人と、性交とは限らないとしてもヘビーキス、ペッティング、抱きしめるなどの何等かの性的な行為をしたことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 全くない    2. 時々ある    3. しばしばある    4. 頻繁にある

91

**問G 次にあなたの性交経験について伺います。**

5=3

問 G-1 あなたは今までに性交経験がありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. ある                      2. ない

6

<2と答えた人は、問H(15ページ)に進んでください>

問 G-2 初めて経験したのはいつのことですか。

西暦     年   月

7 8 9 10 11 12

問 G-3 初めて性交経験をした時、あなたかあなたの相手は、妊娠やその他の病気にかからないような手だてを何かしましたか。次の中からひとつだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 何もしなかった    2. 妊娠しない時期を選んだ    3. 膈外射精  
(性交中断)した    4. コンドームを使った    5. ピルを飲んでいた  
6. IUD (子宮内避妊リング)をしていた    7. その他    8. 不明、覚えていない

13

<1と答えた人は、問G-5に進んでください>

問 G-4 その方法を選んだ理由は何でしたか。次の中からひとつだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 妊娠を避けるため    2. 性感染症を予防するため  
3. 1. と 2. の 2 つの理由で    4. 医学的な理由から

14